

あなたのお家は大丈夫ですか？

シロアリ



◆大切なのは**予防**です
◆万一被害が出たら
早期駆除!



油断大敵! シロアリ被害は見えないところで広がっていきます ⚠

シロアリ予防は家を守るために必要なことです

1 無料床下診断・見積り

まずは現状確認を!



日本しろあり対策協会認定防除士が床下状態を診断します。

診断内容

- ◆シロアリ被害の有無
- ◆給排水管の水漏れチェック
- ◆雨漏りによるシミのチェック
- ◆床下湿気・カビの具合
- ◆基礎のクラック (ヒビ割れ)

2 安全・安心施工

確かな技術で5年間の保証付き

協会の施行基準に則り安全性の高い認定薬剤を使い施工します。

3 アフターサービス

定期点検にも巡回します!

保証期間中も床下状態を万全に保つため確認点検を実施しています。

シロアリの
薬剤効果は5年です

シロアリ消毒は一度の施工で長期安心ではありません。
ここ5年以内に予防処置をしていなければ危険な状態です。

築5年ほどの新しい木造住宅でも
シロアリ被害は発生しています

2013年~2014年に全国の木造住宅を対象に調査したところ、調査件数15,435棟のうち、5,644棟(約36%)がシロアリ被害を受けたことのある住宅でした。特に築25年以上は5棟に1棟の割合で被害を受けています。

◆築年数ごとのシロアリ被害発生率



5棟に1棟シロアリ被害発生

日本長期住宅メンテナンス有限責任事業組合調べ
(平成24年度国土交通省補助企業)

外壁とシロアリ

実はシロアリ被害と外壁は深い関係があり、外壁のヒビ等の傷みは雨水の侵入を招き、壁の中の木材を傷め、カビ・腐りの原因となります。シロアリはカビ・腐りに敏感に反応し集ってきってしまうため、大きな被害がでます。

原因は2階外壁のヒビ割れでした(築16年・ベタ基礎)



柱の形が無い大被害! 外壁を外し柱1本交換の大工事。シロアリは2階天井まで食い進んでいました。

シロアリの被害はいろいろなところで発生、拡大します。発見した時には**「時すでに遅し」!**



床下木部



畳



玄関框



玄関周辺



柱



壁の中



紙・ダンボール類



配線・ケーブル



コンクリート・レンガ

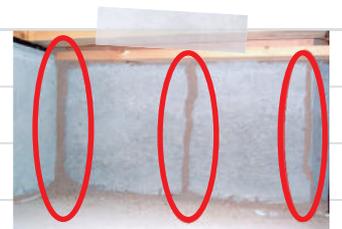


屋外

シロアリQ&A

Q. 床下がコンクリートのベタ基礎ってシロアリは出ないのですか？

A. シロアリはコンクリートでも上がってきます。コンクリートの僅かなヒビなどちょっとした隙間や配管の穴を利用して侵入してきます。こうした隙間も築年数が経つにつれ増えてきますのでシロアリ侵入のリスクも高くなっていきます。現在主流となっているベタ基礎の建物は「シロアリは出ない」と思われている方が多いのですが、これは間違った認識ですので御注意下さい。



コンクリートから上る蟻道 (シロアリの進入路)

Q. シロアリ消毒に適した時期っていつですか？

A. 特に適した時期はありません。気になった時が最適な時期です。

シロアリは冬眠しない為、年中無休で活動しています。寒い時期は多少動きが鈍くなりますが、屋内に侵入したシロアリは着々と食い進んでいき被害は拡大します。近年の建物は気密性・断熱性も向上し室内温度も保ち易いため季節に関係なく被害も出ています。

Q. シロアリの薬剤効果はなぜ5年ですか？

A. シロアリの薬も時代と共に変わっています。昔のように少々臭いがあっても効果が強く長く維持できる薬剤もありましたが、近年の薬剤は人体への安全性と環境への配慮が重視され分解速度が速まっているため5年を限度とした優しいものが多くなっています。